

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	H21年7月に、その人らしい家庭生活・地域密着を念頭に置き、グループホーム運営推進委員の方の協力を得て、理念を変更した	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り後に理念を唱和し、毎日の夕礼・会議等でも理念に沿った介護について話し合っている	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所内に理念を掲示し、ご家族・面会者に話をしているまた草津町より依頼され、グループホームの地域密着について町民の前で話をした	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物で外出した折には、職員が率先して挨拶をしている また事業所を開放しての行事を知らせたり、面会時間も特には決めていない	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭典には自治会の一員として職員が手伝いに参加子供みこしに施設前まで来ていただき、地域の方々とふれあう取り組みをしており、草津町の行事にも積極的に参加している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>パンフレットの設置・配布を実施</p> <p>セミナーを開催し地域の方々と交流を図っている</p> <p>また介護についての相談は、年中無休で受け付けている</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価の結果を職員間で共有し、毎日の夕礼・月に一度の会議で話し合い、改善に取り組んでいる</p> <p>理念を変更し、運営推進会議の進め方についても検討した</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一度開催し、行事や生活状況を報告し、活発に意見交換が出来るよう会を進め、必ず職員と共有している</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>直接役場に伺い意見交換や行政からの支持を頂いている</p> <p>また書類等は手渡しにて行っている</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>草津町主催の勉強会に参加したり、直接担当者と話をしている</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待について職員一人ひとりが学習し、行動や言動を見直しながら研修を行い、日々注意を払い介護をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族のニーズや希望されていることを把握した上で、重要事項に基づき管理者より、説明を行っている また契約には十分な時間をとっている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の会話などから、聞いたり感じ取ったりし、対応している 又、相談担当連絡先を入りに掲示し、提案箱を設置している	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月決まって、行事報告・日常生活状況を写真入りで送付している その際必ず金銭報告も行っている 又、2ユニットの職員が交代になった場合には、面会時に紹介をしている	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話での連絡時に伺ったり、2ヶ月に一度の運営推進委員会に出席して頂き率直な感想と屈託の無い意見を、出してもらい反省させている 又、10月にサービスの質の向上の為のアンケートを実施した	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の夕礼・月に一度のグループホーム職員の全体会議とそよ風の全体会議にて、意見交換をし反映に出来るように努めている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎月 行事や定期受診などを考慮し、ご利用者に負担がかからないよう、勤務体制を考え人員の配置をしている	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日常より、各ユニットのご利用者間の交流・コミュニケーションが円滑に図れるように心掛けている 異動時・新人職員採用時には、ご利用者との信頼関係が築けるまで、先輩職員がフォローしながら安心できる環境が作れるように配慮している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会に出席して学んだことを、事業所内で毎月勉強会にて職員全員が共有することで、スキルアップを図り研鑽できる環境を作っている 新人職員には3ヶ月間、トレーナーをつけ段階的に指導が出来るような仕組みを取り、育成に努めている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や見学会に参加し、情報交換を行うことでサービスの質の向上に努めている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に4回、親睦会をセッティングして職員間のコミュニケーションが図れる機会をつくっている それによって自分自身の考えや思いを伝えられる人間関係が構築でき、ストレスを溜めることが無いようにしている 業務内容は、時間配分に余裕が持てるように業務マニュアルを作成	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人ひとりの性格を把握し、個々に向上心を持ち、業務に就けるよう勤務体制を取り、環境づくりに努めている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常生活の中で不安なことや困っていることが無いかを伺い、表情からも推測していき、時間をかけ傾聴し理解するように努めている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	グループホームを事前に見学して頂き、ご家族が困っている事、不安・悩みを聴き、何を求めているかを把握できるように何回も面談を行い希望に沿ったものになるように努めている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お話を伺い、ご本人・ご家族の求め・必要に応じた支援やサービスの必要性を把握し、サービスの利用を含め検討し対応している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居のご相談があった際に、まずご本人やご家族に見学をしていただき、環境・雰囲気徐徐に慣れていただけるよう、ご家族と相談し、連絡を密にいくことで馴染めるようにしている 又、説明をしっかりと行い納得してご利用していただくように努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活の中で会話を重視しながら、コミュニケーションを大切に、畑作りや食事作りを一緒に行い、個々の得意分野で活躍できる機会を設けるよう職員に指導している		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が中心となって関われる機会も可能な限りつくり、離れていても感情の共有をしていただけるよう、連絡を密に取っている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的にご家族に、生活の様子が伝えられるように写真や手紙を送り、安心して頂けるように努めている 外出や外泊など、ご家族と共に過ごせる時間が設けられるように支援に努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方や知り合いの方に気軽に面会に来ていただいている センター内の馴染みの方とは1階の喫茶コーナーにて、交流できるように支援している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々の性格を把握し、デイルームでの席順・入浴の声かけに配慮し、共同生活が楽しく送れるようにしている ご利用者同士のコミュニケーションが円滑に図られるように、時には職員が間に入り、関わりが多く持てるように努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に応じてショートステイを利用できるように助言をしたり、相談にのっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、会話やコミュニケーションを大切にし、希望に沿えるよう創意工夫をしながら、ケアプランを作成し困難な場合には、再度カンファレンスを行い検討している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の調査や面談で、生活歴・生活環境を把握している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	定期的にアセスメントを実施、それに沿ったケアプランを作成している。 ご利用者が安心・安全に生活が出来るように、毎日の介護記録や会議・カンファレンスにて情報を共有している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医師からのアドバイスを受け、ご本人・ご家族の意見を聞き、スタッフのアイデアを取り入れてケアプランを作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回のモニタリングを行い、ケアプランの見直しの必要性を検討している 又、体調不良や変化が生じた時は、早々のカンファレンスを実施し、新しいケアプランを作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の生活状況や行動・会話など時系列で詳しく記録し、夕礼時に情報を共有し活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他のフロアとの交流・希望に応じて買い物や専門医への受診を行っている 希望に応じて買い物に対応している サービス変更に関するアドバイス・情報の提供に努めている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員に運営推進委員を依頼し2ヶ月に一度会議やイベントに出席をして頂いている 消防訓練においては立会いの下、指導を受けている 又、定期的にボランティアや慰問をお願いしている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望に応じて、居宅のケアマネジャーに相談をし、福祉用具・その他の連絡を取り対応し、サービスを提供できるよう支援を行っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護事業所・地域包括支援と連携を取り、訪問していただく中で情報交換を行っている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者・ご家族の希望を聴き、利便性から多くの方が隣接している、こま草病院を主治医としているが、入居前のかかりつけ医を主治医として希望されている方は継続して受診が受けられるように支援を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご家族が中心をなつて関われる機会も可能な限りつくり、離れていても感情の共有をしていただけるよう、連絡を密に取っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者の尊厳を守り、プライドを傷つけるような言動が無いように取り組んでいる 又、プライバシーに充分配慮した支援の徹底を行っている 個人情報においては、マニュアルを熟知し厳守している 取り扱いは慎重に行い、施錠できる場所に保管している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそつて支援している	家庭的な雰囲気の中で、一人一人のペースを把握し、その方なりの生活が送れるように柔軟な対応をしている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人希望の衣類などを聞き、支援介助を行い、理美容は本人のなじみの店にかかっている また、マニキュアも含めたお化粧品もその日の気分によって、楽しんでいる	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の好みを聞きながら、毎日個々のレベルに合わせた昼食作りや片付けを一緒に行い、作る楽しみ、食べる楽しみを職員と共に経験していただいている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎晩の晩酌・喫煙(ライターは職員管理)は自由 10時と3時にお茶の時間があり、好みのおやつがでるように工夫している また、1階に喫茶コーナーでは、いつでも好きな飲み物も飲めるようになっている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要な方は排泄チェック表で個々の排泄リズムを把握し、トイレ誘導を行って失敗の回数を減らしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外の毎日を入浴可能とし、体調やご利用者の気持ちを大切に、温泉入浴を楽しんでいただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	特に就寝・起床時間は決まらず、ご利用者のリズムに合わせた更衣介助・就寝介助を行っている また、夜間の暖房や布団干しには気を配っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	全員の生活歴・趣味・興味のある事を把握し、ご利用者の力を発揮していただけるケアプランを作成し、食事作り・掃除・裁縫・趣味活動・畑作り等、様々な活動に取り組んでいただいている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族と相談のうえ、小口現金として管理しているが、毎日自動販売機でジュースを買うことを楽しみにしているご利用者がいる 外に買い物に行った時は、できる限りご自分で支払えるよう支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	暖かい日には散歩・外気浴に出かけたり、敷地内の畑で植え付け・草取り・収穫などを行っている また、買い物・町の行事・ドライブにも出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域の文化祭・イベント・コンサートなど希望を伺い参加している また、家族との外出の機会が作れるよう、個々に相談している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に使え、耳の遠いご利用者には職員がついて静かな場所でゆっくり話ができるように支援している また、ほぼ毎日ご家族から電話がある方もいる		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は自由で、時間の決めもない 居室でゆっくりと話がしていただけるよう、対応している		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会や会議をもち、周知徹底を図っている 昼夜を問わず、身体拘束は行っていない		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	勉強会・会議にて施錠の弊害は理解しており、夜間のみ防犯上の理由で、玄関の施錠をしている また、ご利用者からの希望がある場合は、居室に施錠することもある		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入室時は必ずノックしプライバシーに配慮している 夜間は巡視時間を決め、安全確認をしている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ・針等でもご利用者の能力に応じて居室で、あるいはフローアで見守りにて使っていただき、片付け方や、ケースを用意しての保管方法に注意している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的に勉強会を開いている また業務処理報告書を活用し、再発の防止について話合っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会や社外研修に参加して勉強するとともに、急変や事故発生時のマニュアルにそって動けるよう訓練もしている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署の指導を受けながら避難訓練を行っている また、緊急時には地域の方々の協力が得られるよう、体制作りができています		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについてはご家族に説明をし、ご利用者のADLにそった、見守り・介助を職員間で共有・実践している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックをし、グラフを使った一覧表に記入している また会話や行動の変化を見逃さないように心がけ、発見時には、上司・看護師に報告し、指示を仰いでいる		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報ファイルを活用し、ご利用者ごとに薬の目的・副作用等を確認し、服薬が正しく行えるよう努めている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の水分量に注意し、繊維の多い食物・乳製品を摂るようにしている 散歩・ラジオ体操・リハビリ体操・レクリエーションを行い、体を動かしている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声かけ・介助を行っている また、夜間は義歯を洗浄剤に付け清潔を保っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量や水分量は、一覧表にし介護記録に残している 必要に応じてカロリー計算や、食材の固さ・切り方に工夫をしている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルに沿った介護を行い、定期的に感染症の勉強会を開いている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使用後は調理器具の消毒を徹底し、定期的に冷蔵庫チェックを行い、食材管理に注意を払っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には案内を貼り、いつでも面会できるようにしてある また長椅子を設置し、安全に外出準備等ができるようにしてある		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンで部屋に入る光の調節をし、生活に必要な備品を揃え暮らしやすい環境作りを行っている また、季節の飾りや花を育て楽しんでいる		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	デイルーム・エレベーターホール・喫茶コーナー等、自由に過ごせる場所がいくつもある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みの物、遣い慣れた物を自由に持ち込んでいただき、居心地良く安心して生活できるように配慮している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓を開けての換気。温度・湿度チェックを行っている 床暖房にてこまめに温度調節をしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリーで手すりがついている 身体機能に合わせ、階段で移動するご利用者もいる		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入り口に手作りの表札を掛け、トイレなども見やすいように大きな文字で表示してある 失敗の可能性のありそうな時は、その都度対応策を話合っている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りは畑があり、種まき・植え付け・収穫を楽しんでいる ベランダでは花を育てたり、日光浴をしている		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・全職員がご利用者様の生活歴を把握し、個々のペースに合わせた介護を行っています。
- ・笑いの絶えない暖かい雰囲気大切にしています。
- ・たくさん食べたいくなる。おいしい食事作りを一緒に行っています。